

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	
			地域交通・情報通信	○	まちづくり	○
ふりがな		あんどう しゅうじ				
氏名		安藤 周治				
所属	名称	特定非営利活動法人ひろしまね				
	役職	理事長				
連絡	住所	(公開)	〒 728-0124			
			広島県三次市作木町下作木1589番地			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail sand[アットマーク]pl.pionet.ne.jp			
		(公開)	TEL 090-4149-6389		FAX	
連絡方法		-				
略歴		1970 年作木未来会議立ちあげ 会長 1990 年中国・地域づくり交流会 代表幹事 1982 年過疎を逆手にとる会発足 会長 2000 年国土庁(現総務省)過疎問題懇談会 構成員 2002 年ひろしま NPO センター 代表理事 2010 年国土交通省水の里の旅コンテスト 審査委員長 2013 年ひろしまさとやま未来円卓会議 委員 2019 年総務省過疎地域等自立活性化推進交付金事業評価委員 2020 年旧 JR 三江線代替交通検討委員会 委員 2022 年広島県河川整備基本方針等検討委員会 委員 2023 年国土交通省水源地域未来会議 構成員				
著作・論文等		全国まちづくり集覧(共著)有斐閣 人が輝くまちが輝く(共著)第一法規出版 論文「広島発ひろしまね風「もう一つの役場」のすすめ」コミュニティ政策 3 論文「行政をまきこんだ地域づくり」コミュニティ政策				
取組概要		現場を歩くことで、地域課題や解決策も見えてくるのではないだろうか。平地の少ない地域河川流域での水防災事業「垂直かさ上げ」による「盛り土方式」の提案で「特定河岸地水害対策事業」、現在は「水防災対策 特定河川事業」の実現のきっかけをつくり、10 年かけて実現した。地域内 8 カ所で同様な防災工事が完了している「悉皆調査」の重要性など聞き取り調査を重視した「巡検」を薦める。聞き取りの中から「補助金制度ではなく補助人制度を」との提案から、「集落 支援員制度」、「地域おこし協力隊制度」が、具体化実現した。中国地方初で全国に点在する「道の駅」の拡充の取り組みでは、データの重要性や「社会実験」の必要性を「拡充運動」の中で締着することができた。市民活動全般、地域づくりに関する講演、調査研究、意見集約、地域思考計画などへの提言、アドバイスなど各地ですすめている。「もう一つの役場」の提言が「地域運営組織(RMO)」などで大きな成果を上げているが、現在は「ふるさと信託機構」の提案をしながら、空き家や放棄された農地や林野など地域の資源の信託を受け有効な利活用をして、地域の振興を目指し社会実験の段階に入った。				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

登録期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日

メッセージ	「あるく むる きく」の現場第一主義、それは民俗学者宮本常一の考えでもある。民俗学は地域づくり運動にとって一番参考になる手法、思想を持った学問であろう。と 特定非営利活動法人ひろしまねでは考えて既に 20 年以上にわたり月に 1 回「我聞塾」を開き、民俗学の手法により地域の捉え方、発想の在り方などを学び続けている。江の川流域を中心にしながら、中国地方全域にわたるネットワークを持ち、幅広く自在 の支援活動なども「ひろしまね」を中核にして展開を続けている。		
関連ホームページ	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター https://npoc.or.jp/ 特定非営利活動法人ひろしまね https://npoc.or.jp/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。